

機械器具51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 吸引キット 13846000

気管吸引用キットカテーテル付

再使用禁止

【警告】

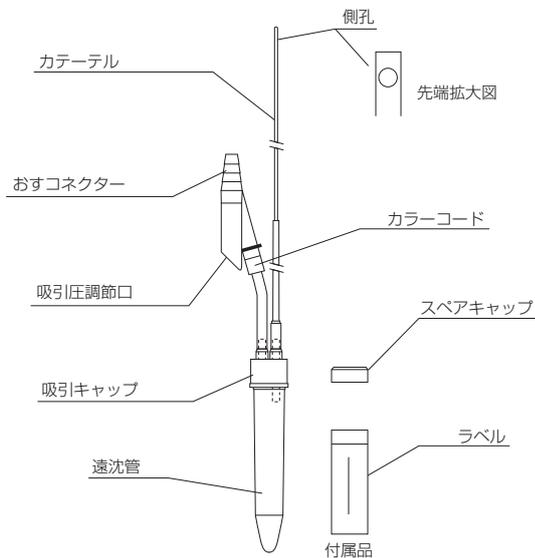
- 吸引を行なう際は、徐々に吸引圧を上げること。
[急激に上げると粘膜組織を引き込み損傷する危険性がある。]

【禁忌・禁止】

- 使用方法
再使用、再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 構造



2. 種類

本品は構成内容により以下の種類がある。

製品番号	サイズ	有効長	カラーコード	遠沈管容量
MD-33105	1.67mm (5Fr)	40cm	灰	10mL
MD-33106	2.0mm (6Fr)		薄緑	
MD-33110	3.33mm (10Fr)	50cm	黒	
MD-33112	4.0mm (12Fr)		白	
MD-33114	4.67mm (14Fr)		緑	

※本品はE O G滅菌済である。

3. 材質

体液接触部	材質
カテーテル	軟質ポリ塩化ビニル (可塑剤: フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))

4. 作動・動作原理

本品はカテーテルを口腔内・鼻腔内・気道内に挿入し、カテーテル内に陰圧をかけてカテーテルの先端開口及び側孔から口腔内、鼻腔内、気道内の分泌物・異物・血液等を吸引して採取容器に無菌的に回収する。

カテーテルの吸引圧は、吸引源とおすコネクタを接続することにより発生させる。おすコネクタには吸引圧調節口が設けてあり、これを指で塞いだり、開放することにより吸引圧を調整する。

カラーチップはJIST3251に基づき着色されており、カテーテルの外径を識別することができる。

接続チューブは吸引カテーテルに接続して吸引キャップを通して採取容器に接続され、回収した分泌物・異物・血液等を採取容器に誘導する。また、回収後の採取容器は付属のスベアキャップで密栓され、ラベルを貼ることによって識別される。

【使用目的又は効果】

本品は口腔内・鼻腔内・気道内に挿入し、分泌物・異物・血液等の吸引・回収に使用される。

【使用方法等】

- 本品の使用に際して以下のものを準備する。
 - ・本品
 - ・吸引源 (吸引器、壁配管等)
- 手術用手袋を着用する。
- 滅菌袋を開封して本品を取り出し、傷、汚れ、つぶれ、折れ等の異常がないことを確認する。
- 吸引源におすコネクタを接続する。
- 吸引源を始動する。
- 吸引圧調節口を開放した状態でカテーテルをピンセットでつまみ、口腔内、鼻腔内、気道内にカテーテルをゆっくり挿入していく。
- 吸引圧調節口を指で塞いで吸引圧を調節しながら吸引を開始し、愛護的に粘液等の回収を行う。
- 吸引・回収が終了したら、吸引圧調節口を塞いでいた指を外し、吸引源を停止する。
- カテーテルをゆっくり愛護的に抜去する。
- 遠沈管を吸引キャップから取り外し、付属のスベアキャップを取り付けてラベルを貼る。
- 遠心分離機にかけるときは必要がある場合、遠心加速度を3,000g以下で行う。

【使用方法等に関連する使用上の注意】

- 十分な吸引が出来ない場合は、吸引源とおすコネクタ、吸引キャップと遠沈管がしっかり接合し、リークがないことを確認すること。
- 本品はカテーテルの折れ、つぶれ等の変形が発生しない吸引圧で使用し、吸引中はカテーテルの折れ、つぶれ、ねじれ等の発生がないことを適宜確認すること。
- 吸引中は遠沈管を垂直に保つこと。遠沈管を傾けると管内の回収液が吸引源に吸引されることがある。
- カテーテルを抜去する際は吸引圧調節口を開放した状態で行うこと。開放しないで行うと吸引圧で粘膜組織を引き込み損傷する危険性がある。
- 本品の遠沈管を使用した遠心分離操作では、過度な回転数、遠心加速度による操作を行わないこと。破損や漏出による回収液の飛散が起こる可能性がある。
遠沈管の遠心強度参考データは以下の通りである。

遠心加速度 (g)	回転時間 (分)	ローター (推奨)
3,000	10	スイングローター

純水を10mL充填
ゴムクッション使用

【使用上の注意】

1. 不具合・有害事象

【重大な有害事象】

- ・ 粘膜組織損傷
- ・ 感染
- ・ 発熱

【その他の不具合】

- ・ カテーテル異常（破断、折れ、ねじれ、つぶれ、詰まり）
- ・ 遠沈管の破損

【その他の有害事象】

- ・ カテーテル体内残留

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管条件

- 1) 本品は直射日光や水濡れを避け、涼しい場所で保管すること。
- 2) ケースに収納した状態で保管すること。

2. 有効期間

本品の滅菌保証期間は製造後3年間とする。(自己認証による)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売業者】

SBカワスミ株式会社

【お問い合わせ先電話番号】

東京	03-5462-4824	大阪	06-7659-2156
札幌	0133-60-2400	名古屋	052-726-8381
仙台	022-742-2471	広島	082-542-1381
北関東	0495-77-2621	福岡	092-624-0123